

薬学教育モデル・コアカリキュラム

項目	到達目標	SBOコード	CBT
C 薬学専門教育			
[薬と疾病]			
C15 薬物治療に役立つ情報			
(1) 医薬品情報			
【情報】	1. 医薬品として必須の情報を列挙できる。	C15(1)1-1	○
	2. 医薬品情報に関わっている職種を列挙し、その役割を説明できる。	C15(1)1-2	○
	3. 医薬品の開発過程で得られる情報の種類を列挙できる。	C15(1)1-3	○
	4. 医薬品の市販後に得られる情報の種類を列挙できる。	C15(1)1-4	○
	5. 医薬品情報に関係する代表的な法律と制度について概説できる。	C15(1)1-5	○
【情報源】	1. 医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料について説明できる。	C15(1)2-1	○
	2. 医薬品情報源として代表的な二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。	C15(1)2-2	○
	3. 厚生労働省、製薬企業などの発行する資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。	C15(1)2-3	○
	4. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の法的位置づけと用途を説明できる。	C15(1)2-4	○
	5. 医薬品添付文書（医療用、一般用）に記載される項目を列挙し、その必要性を説明できる。	C15(1)2-5	○
	6. 医薬品インタビューフォームの位置づけと用途を説明できる。	C15(1)2-6	○
	7. 医療用医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの使い分けが出来る。（技能）	C15(1)2-7	△
【収集・評価・加工・提供・管理】	1. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能）	C15(1)3-1	△
	2. 医薬品情報を質的に評価する際に必要な基本的項目を列挙できる。	C15(1)3-2	○
	3. 医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供できる。（技能）	C15(1)3-3	△
	4. 医薬品情報の加工、提供、管理の際に、知的所有権、守秘義務に配慮する。（知識・態度）	C15(1)3-4	△
	5. 主な医薬品情報の提供手段を列挙し、それらの特徴を説明できる。	C15(1)3-5	△
【データベース】	1. 代表的な医薬品情報データベースを列挙し、それらの特徴を説明できる。	C15(1)4-1	○
	2. 医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索できる。（知識・技能）	C15(1)4-2	△
	3. インターネットなどを利用して代表的な医薬品情報を収集できる。（技能）	C15(1)4-3	△
【EBM】	1. EBMの基本概念と有用性について説明できる。	C15(1)5-1	○
	2. EBM実践のプロセスを概説できる。	C15(1)5-2	○
	3. 臨床研究法（ランダム化比較試験、コホート研究、症例対照研究など）の長所と短所を概説できる。	C15(1)5-3	△
	4. メタアナリシスの概念を理解し、結果を評価できる。（知識・技能）	C15(1)5-4	△
	5. 真のエンドポイントと代用のエンドポイントの違いを説明できる。	C15(1)5-5	△
	6. 臨床適用上の効果指標（オッズ比、必要治療数、相対危険度など）について説明できる。	C15(1)5-6	△
【総合演習】	1. 医薬品の採用、選択に当たって検討すべき項目を列挙できる。	C15(1)6-1	△
	2. 医薬品に関する論文を評価、要約し、臨床上の問題を解決するために必要な情報を提示できる。（知識・技能）	C15(1)6-2	△
(2) 患者情報			

薬学教育モデル・コアカリキュラム

項目	到達目標	SBOコード	CBT
【情報と情報源】	1. 薬物治療に必要な患者基本情報を列挙できる。	C15(2)1-1	○
	2. 患者情報源の種類を列挙し、それぞれの違いを説明できる。	C15(2)1-2	○
【収集・評価・管理】	1. 問題志向型システム(POS)を説明できる。	C15(2)2-1	○
	2. 薬歴、診療録、看護記録などから患者基本情報を収集できる。(技能)	C15(2)2-2	△
	3. 患者、介護者との適切なインタビューから患者基本情報を収集できる。(技能)	C15(2)2-3	△
	4. 得られた患者情報から医薬品の効果および副作用などを評価し、対処法を提案する。(知識・技能)	C15(2)2-4	△
	5. SOAPなどの形式で患者記録を作成できる。(技能)	C15(2)2-5	△
	6. チーム医療において患者情報を共有することの重要性を感じ取る。(態度)	C15(2)2-6	△
	7. 患者情報の取り扱いにおいて守秘義務を遵守し、管理の重要性を説明できる。(知識・態度)	C15(2)2-7	△
(3) テーラーメイド薬物治療を目指して			
【遺伝的要因】	1. 薬物の作用発現に及ぼす代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。	C15(3)1-1	○
	2. 薬物動態に影響する代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。	C15(3)1-2	○
	3. 遺伝的素因を考慮した薬物治療について、例を挙げて説明できる。	C15(3)1-3	○
【年齢的要因】	1. 新生児、乳児に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。	C15(3)2-1	○
	2. 幼児、小児に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。	C15(3)2-2	○
	3. 高齢者に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。	C15(3)2-3	○
【生理的要因】	1. 生殖、妊娠時における薬物治療で注意すべき点を説明できる。	C15(3)3-1	○
	2. 授乳婦に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。	C15(3)3-2	○
	3. 栄養状態の異なる患者(肥満など)に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。	C15(3)3-3	△
【合併症】	1. 腎臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。	C15(3)4-1	○
	2. 肝臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。	C15(3)4-2	○
	3. 心臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。	C15(3)4-4	○
【投与計画】	1. 患者固有の薬動学的パラメーターを用いて投与設計ができる。(知識・技能)	C15(3)5-1	△
	2. ポピュレーションファーマコキネティクスの概念と応用について概説できる。	C15(3)5-2	○
	3. 薬動学的パラメーターを用いて投与設計ができる。(知識・技能)	C15(3)5-3	△
	4. 薬物作用の日内変動を考慮した用法について概説できる。	C15(3)5-4	○